



対東海大相模戦で熱のこもった応援を繰り広げた静高側スタンド
= 3月29日

2年連続でセンバツ出場を果たした静高ナインは開会式の入場行進で堂々とした
行進を見せた= 3月23日



センバツ2年連続出場

静中静高同窓会報

第165号
【次は平成30年10月】
発行所 同窓会報編集委員会
発行人 同窓会報編集委員会
印刷所 柳南写植
電話 〇五四一三三六二五
〇五四一三三六二五

東海大相模に敗れる

静岡高野球部は三月下旬から甲子園球場で行われたセンバツに二年連続17度目の出場を果たし、前年と同様、初戦を突破したが、目標とした上位進出はならなかった。
秋の東海大会優勝、明治神宮大会初勝利と期待が高まった第90回選抜高校野球。初戦の2回戦は同じく神宮大会出場の駒大苫小牧(北海道)。好勝負が予想されたが、静高は投打に圧を被り、右腕エース春(三年)が倒れた。夏までに精神力も含めて鍛え直す」と巻き返しを誓った。(編集委員)

長所生かす 役割果たす

大石前野球部長

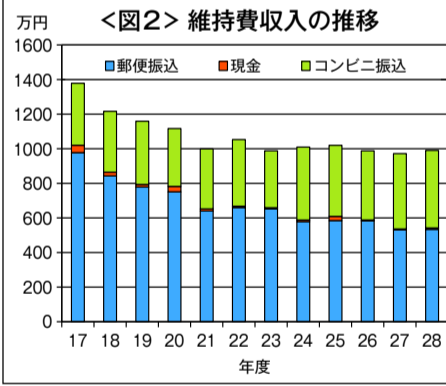
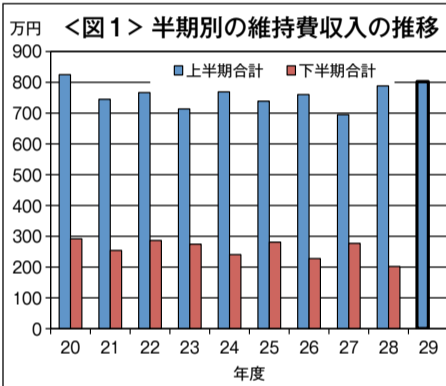
このたび第九〇回記念選抜高校野球大会に東海代表として二年連続一七回目、春夏通じて四一回目の甲子園出場を果たすことができ、初戦では、大リーグで活躍している田中将大選手の出身校であります駒大苫小牧高校に快勝しましたが、次戦は優勝候補の一つと言われていました東海大相模高校に、さすが神奈川チャンピオンという試合運びで押し切られ、甲子園を去ることになりました。

今年度の選抜大会は第一〇〇回大会です。部訓にある「甲子園優勝」を達成できるように、夏にも甲子園で成長した姿を見せたいです。今年度の選抜大会は第一〇〇回大会です。部訓にある「甲子園優勝」を達成できるように、夏にも甲子園で成長した姿を見せたいです。

維持費ぜひ納入を

上半期は前年比増 下半期、楽観できず

同窓会二九年度上半期(平成二九年一〇月一日〜三〇年三月三十一日)の中間決算報告によると、図1のように入会費収入は八〇二万円、前年同率より一三万八千円の増収となりました。しかし、図2のように入会費収入は八〇二万円、前年同率より一三万八千円の増収となりました。



減少傾向が続いていることは変わりなく、昨年度も目標額の千五〇万円に達せず、一五〇周年への基金積み立ては三年連続で五〇万円の減額となっています。上半期の収入が多いからと、必ずしもそうではありません。今後下半期で昨年実績より五〇万円増収できなければ、四年連続で基金積み立て減額という事態もあり得るので、決して楽観視はできない状況です。下半期五〇万円の増収には、昨年度下半期より約二五〇名多い会員の維持費納入が必要ですが、納入が滞りない方は、是非とも九月末までの納入をお願い申し上げます。(事務局)

事務局から

次号原稿・写真は8月末締め切り

「静中静高同窓会報」に毎号、多くの原稿・写真を寄せて頂きありがとうございます。次号一六六号は一〇月発行で、原稿・写真の締め切りは八月末日です。原稿は一行一二字詰めで、同窓会同期会報告は四五行、その編集委員会が付けます。他は八〇行以内でお願いします。併用写真は説明を付けて原稿と一緒に同窓会事務局へ送って下さい。原稿は手直しする場合があります。タイトル(見出し)は

世界にひとつの手作りリング ORIGINAL ATELIER PLAN 結婚、結婚リングなどふたりにとって特別な日の思い出に手作りリングを作ってみませんか。初めてでも、スタッフが丁寧にサポート致しますので安心して作りいただけます。同窓生とご家族の皆様には、特別にご優待をさせていただきます。 コーラルベル 電話予約で補聴器をお試しいただけます。 〇120-252-876 佐川博(84期)・佐川里美(88期) 雅子(119期)・朋子(123期) http://www.coralbell.com (株)ラフィエネ・サガフ 静岡市葵区呉服町2-1-9 呉服町プラザビル1F

みなさまと共に明日を創る 鈴与グループ 私たちは200年を超える歴史と約140社のグループ会社で、物流・エネルギー・建設・食品・情報・航空・レジャーなど幅広い分野に挑戦を続けています。 鈴与株式会社 www.suzuyo.co.jp

同窓会・同期会

野球部の近況、興味深く



野球部の話題で盛り上がった87期同期会

集いました。87期がお世話になった先生方全員に声を掛けたところ、野島先生、巻島先生が出席をされ、祝辞を頂きました。また欠席の一九名の恩師からも、近況とお祝いの言葉が寄せられました。

87期は野球部OB会会長鈴木和幸はじめ望月富夫、野球部後援会川口孝次と三名が野球部にかかわっています。鈴木から野球部の選抜出場の報告があり、全員で喜びを分かち合いました。続いて野球部の近況について話がありました。

毎年野球部に入学してくる子の中には、裁量枠で受験しなくても十分合格できる子もおり、野球経験が乏しい子が静岡のユニホームを着たくて親を説得した子や、医学部へ進学した子も出てきて、野球部員の文武両道の姿勢など他校とは違う取り組みに耳を傾けました。

一次会が終わり、続く二次会も野島先生をはじめ九〇名が参加したので、席が足りなくなるほど盛況のうち二次回の再会を約し散会しました。(87期 石川友二)

世代を超えて同窓生と母校現役高校生が、「本」を通じて繋がっていくことができる活動です。次回はどういう本が母校の書架上に並ぶのか、を楽しみに新年度も継続していきます。(90期 山下雅子)

関東同窓会

読了図書を寄付・交換

絆深める「古書コミ」活動 母校に図書券寄贈も

100人 2次会も盛況

87期

還暦同窓会から五年が過ぎ、我々87期も六五歳を迎え、完全に退職した者も

関東同窓会は二〇一四年度から、「読み終えた本の寄付・交換」を通じて母校との繋がりを、また同期とともに同窓生との繋がりを深めるという「古書コミ(コミュニケーション)活動」を行っています。回を重ね、七月の総会と二月の各期幹事会の年二回を継続して計八回になりました。



静岡図書館に備えられた、関東同窓会寄贈図書券で購入した書籍

富士支部 話題は甲子園

思い出も続々



野球の話題や昔話に花が咲いた富士支部総会の出席者

富士支部総会・懇親会が三月八日、富士市のホテル

に出場する野球部について聞かせてもらいました。懇親会では、角替副会長から本校の幾多の校名変更に関する興味深い話があり、一四〇年にならんとする静岡の歴史の重みをあらためて感じた次第です。失念していた校章の「いわれ」も教えていただきました。三浦先生からは、「甲子園歴史館」に静岡の全国優勝時の記念品(ユニフォーム、ウイニングボールなど)が展示されているので、甲子園に行った際に寄ってみたいと紹介がありました。展示品の写真をコピーして皆さんに配布して下さり、展示品を拝見して下さり、また優勝からそろそろ百年たつので、「二度目の優勝も近いのでは」という話を聞き、酔いもありません。昔話や健康の話に花が咲く中、締めは全員で野球部の甲子園での大活躍とお互いの息災を願って大声で校歌を歌い、小雨の中散会しました。

活動の方法は、読み終えた本を総会の会場まで持参

三浦先生からは、選抜大会

支部会長が出席、挨拶

大阪で「ふじのくに交流会」

選抜野球の熱い応援期待

関西支部

寒さ厳しい二月三日、大阪市の大坂ヒルトンホテル

第二部の交流会では、在阪領事館関係、財界、政界、学界、法曹界などの諸氏による名刺交換があり、懇談が始まりました。会場

静岡県内の高校同窓会を代表して静岡・静高同窓会

この交流会で「ふじのくに茶の都ミュージアム」

関西地区ふじのくに交流会



「関西地区ふじのくに交流会」に参加した関西支部のメンバー(右から3番目は静高OBの静岡県職員)

角替副会長と三浦先生を迎え、磯西昭氏(60期)以下総勢一一名が参集しました。同窓生の皆さんも高齢となり、少しずつ参加者が減少している状況です。

今回事務の富士地区同窓生は次回、ぜひ出席をお願いします。

Advertisement for KOTO lighting products. Features a car headlight and the slogan '安全を光に託して' (Entrusting safety to light). Includes contact information for KOTO Co., Ltd. and a website link.

卒業45年となる89期の同期会に95人が参集し盛大な会となった

同窓会・同期会



新たに「卒業アルバム」作る



出席者を喜ばせた新たに作成の「卒業アルバム」

89期「卒業四五年の集い」が一月三日、静岡市で開かれました。今回は33日Rが幹事を務め、九五名が集まり、三年前の還暦同期会に並ぶ盛大な会となりました。

89期

45年目の贈り物 驚き、喜びの声

集合写真の撮影後、堀池英伸君の司会で開会、「賛歌」が流れる中、89期会旗が応援指導部によって運ばれ、森佑司団長の指揮で校歌斉唱。学年代表の南荘宏君が卒業四五年を祝って挨拶。村上秀明君と山本和香さんによる物故者追悼が行われて全員で黙禱し、乾杯をして歓談となりました。

海外在住者 挨拶動画も 一月二日、静岡市内のホテルで開催された124期卒業生として立派に家族を持つ姿も多く、改めて一〇年という時の流れを感じた。

静岡のおでんとお酒と黒はんぺん 静岡おでんガッツ 岳南健児の大切なお集まりやちょっとした息抜きに 03-6273-8663 http://shizokaoden-guts.red/ @ShizokaOdenGuts 静岡おでんガッツ 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-19-8 阿部ビル1階 代表 市川 徳二 (112期)

卒20の会

急の呼び掛けに94人

114期 恩師も6人、歓談弾む



114期は一月二日、静岡市で、卒業二〇年の会を開催しました。「卒業二〇年」という声が上がったため、開催二カ月前の突如の呼び掛けとなりました。

急の呼び掛けだったが94人の同期が出席。恩師6名(前列左から山口、畑、岡田、秋山、松永、笠井の各先生)を囲んでの記念写真

たようで、あつという間に時間は過ぎてしまいました。最後に、HRごとや全体の集合写真を撮影の後、大高正裕元応援団長の指揮で校歌を全員で斉唱しました。



卒業10年の会となった124期同期会に約120人が出席し、記念撮影や談笑する姿が多く見られた

個性派、各界で活躍

124期

「起業したい!」「会社を設立したい!」 同窓生を全面的に応援します。 税理士法人 RASHINBAN 羅針盤 〒420-0011 静岡市葵区安西4-113 TEL:054-252-2532 FAX:054-252-2534 URL http://www.m-mao.jp

同窓会・同期会

同期の姿、新たな刺激

128期 恩師挨拶に歓声



卒6の会に128期の多くが出席し思い出話などで楽しく過ごした

128期の「卒業六年目の集名、恩師一四名が参加し...

事などの承認と進められた。先生方からも一人ずつ挨拶を頂き、近況報告や思い出話を伺った。会場から歓声や拍手が沸き上がるなど、大きく盛り上がった。

理事、理事は次の通り。▽代表理事・牧野貴大▽副代表理事・多田舞樹、渡邊雄哉▽理事・河野文弥、樹(35HR)、堀越崇秀(36HR)...

園の常連校とは、との内外の世評に俺たちの鼻は高い。近いうちに大正一五年以来の全国制覇も夢ではないだろう。

「応援カンパ」続けよう 甲子園出場 貧者の一灯を

71期八千代会

三月二四日午後一時一分、「やった!! 7対0」春の選抜高校野球だ!。春の選抜高校野球第一戦、強豪駒大苫小牧をシャットアウトした瞬間。勝利の歓声を上げたのは、東京・神田神保町のブックカフェ「二十一世紀」で揃ってテレビ観戦していた俺たち「71期 八千代会」だけではない。俺たち「八千代会」は、昨年一月に行われた県の新入戦大会でも男子団体3位、女子団体準優勝。また、女子個人では三年生の勝山明日香さんが4位に入賞し、全国大会に進出した。

全国高校将棋女子大会

小松友香さん(3年)優勝

三月二五日に藤枝市で実施された第二回全国高校将棋女子記念大会兼加藤康対戦し、4連勝した結果で次杯で、現三年生の小松友香さん。



始業式に先立って行われた表彰式で志村剛和校長から賞状を受ける小松友香さん

将棋部は三年生二名、二年生八名の計一九名(男子一五名、女子四名)で活動しています。必修活動は毎週金曜日放課後二時間程度ですが、多くの部員が自主的に毎日熱心に活動しています。

好成績を上げましたが、昨年一月に行われた県の新入戦大会でも男女ともに活躍が期待されます。皆様の応援をよろしく願います。(将棋部顧問 増田道則)

最後に、俺たちイレブンの名前を記す。石垣新一郎、伊藤勝、浦田彰、遠藤吉隆、栗田甲子男、後藤弘枝、酒井力、富野壽、長倉真一、前田利彦、望月祐一。(71期 浦田 彰)

富士山の体積算出アイデア競技

上位10点に現役3人組

応募700点 県内高校で唯一



チームあんちゅうの三人は、地学の授業(二年理系選択)の探究活動で課題に取り組んだ。国土地理院の地形図を用いて富士山をマスで区切り、それぞれの標高を求め、積分する方法で体積を求めていった。何度か基準となる標高を変えて計算し、最終的に標高一五〇メートルを富士山と定義した。審査員からは「応募作品の中には類似の方法を考えたものが数点あったが、考え方や計算過程を丁寧に示したことを評価した」とのコメントをいただき、県内高校生で唯一の受賞を喜んだ。(地学教諭 美澤綾子)

Yoshimi-Books advertisement with logo and contact information for various branches.

Shizuko 70th Anniversary and Real Estate advertisement for Nissho Real Estate Co., Ltd.

「工芸としての七宝」を語る

アートクラブ講演会 講師は九鬼英子氏(83期)



七宝焼について説明する九鬼英子氏



九鬼英子氏の七宝作品「有線七宝篭」

一月二〇日、静高美術同好会(静高アートクラブ)は九鬼英子さん(83期、静高美術同好会会員、七宝焼作家)を講師に迎え、静岡市のホテルシティオで「工芸としての七宝、その歴史」と題して、七宝の流れをスライドで解説する講演会を開催しました。九鬼さんは現在、日本工芸会正会員、釉子会主宰者です。

講演の後、自身の七宝作品を手に取りながら七宝作りの説明があり、「七宝は珪石と釉薬を混ぜて焼き、焼いた後研磨して仕上げる」とのこと。「立体的なものに流れる寸前に炉の温度を下げてはガラスが溶けた時に垂れてしまうのでは」という質問には、「粉末のガラスをふりでの密度濃く載せました。(73期 大石安任)

現在、「七宝」というのはほとんどの方がアクセサリーを思い浮かべるだろう。確かにアクセサリーも七宝の重要な分野ではあるが、七宝がアクセサリーに活用され始めたのは最近のことであり、それ以前はもっと長きにわたり工芸としての七宝の歴史がある。

国内で日本人による七宝の製作が始まったのは慶長年間であり、それ以前は渡来品であった。戦国時代の終了と共に、秀吉によって大掛かりな建築物が作られ始めると、その付属金物として襖の引手、釘隠し等が製造された。絢爛さを好む当時の風潮と、七宝の持つ華やかな色彩とが合致したわけだ。このころから江戸初期にかけて七宝の技術は進み、建築物以外にも刀装具などの名品が多数残っている。しかしその技術は秘伝とされ、一部の技術者に独占されて広がりを欠いたため、江戸後期には衰退した。

次に七宝が工芸として表舞台に出てくるのは明治初期である。当時の日本は開国間もない東洋の三流国でしかなかった。その日本の価値を欧米に認識させたのが七宝を含む工芸品であった。世界各国の万国博覧会に出展されたこれらの工芸品はその技術や美意識において、日本独自の花鳥風月

いた欧米諸国の瞳目を集めた、ヨーロッパにおけるジャポニズムの流行を加速させた。主要な輸出品のひとつとして多くの外貨をもたらした。政府もまた、その芸術性の育成にも力を注ぎ、七宝の分野では釉薬の研究改良がなされ、それまでに無かった透明釉が開発され、日本独自の花鳥風月

などの絵画的表現が可能となった。このころの七宝は輸出品として制作されていたため、ほとんどが海外にあったのだが、近年「超絶技巧」への関心の高まりと共に海外からの買い戻しが盛んとなり、やっとその実物を国内で見ることが可能となり、その価値が再認識され始めている。

「人生の記念日」のお手伝いをしています。同窓生の皆さん、是非ご連絡下さい。

静岡県東部、沼津・三島で「人生の記念日」のお手伝いをしています。同窓生の皆さん、是非ご連絡下さい。

卒業してから二十五年。家業を継いで、二十年。

身分証明書
静岡県立静岡高等学校
生徒氏名
生年
住居

(有)京都もなみ
代表 横井徹也(109期)



柔道部OB会恒例の役員 席しました。および稽古指導員による新年懇談会が二月三日、静岡「中部予選を突破した県新」市内で開催され、九名が出席。大会一回戦、対天竜高に勝利、二回戦、対浜松工業で敗退。この報告、常々団体戦に出場できることは、OBとして勝利以上はうれしいことです。(75期 稲葉辰馬)

柔道部会 海外で生きてきた技術。おもしろい体験を披露。人間の出会いって不思議なものだな、と感じる。深かったのが化学だったこともあり、入社試験の重役面接で、入社後は小平の技術セン

の柔道が縁となったエピソードで、その一部を以下に紹介します。また、今年度総会を六月二三日午後五時半から、静岡市葵区伝馬町のマイホテル童宮で開催します。OBから多数の出席をお待ちしています。(75期 稲葉辰馬)

聞かれた内容は、「入社してから柔道やりますか」基礎研究に従事しているということばかり。確かに、三〇代になったとて、頭が固くなったヤツというものでしたが、その方は不要なもので出て行けという指令。どうやら柔道三段ということでしたが、その方は当時会長職。つまり十年前の重役面接で私に柔道のことばかり聞いてきた社長その人でした。

海外での柔道稽古の件ですが、残念ながら何回か機会はありませんでした。フランスやベルギー、アメリカやブラジルなどに知人はおります。まだ生きています。半はいつか会える機会が来るはず、と今でもその気持ちだけは持ち続けています。(81期 塚本武洋)



静高卒業生など330人が参加して盛大に行われたフリッパーズスイミングクラブ創立50周年を祝う会(写真提供 静岡新聞社)

旧静中水泳部OBが、小学生を対象に心身ともに立派な水泳選手を育てることを目的として創設したフリッパーズスイミングクラブ(会長・赤石啓 82期)が、昨年一〇月二日、「創立五〇周年を祝う会」を静岡市内で開催しました。フリッパーズスイミングク

ラブは営利団体ではないため専用のプールがなく、主に母校のプールを借用しています。これまでにオリンピック、全国高校総体、全国中学総体、小学生の全国大会などで上位入賞者を輩出し、平成一三年に文部科学大臣表彰、同二八年に日本水泳連盟優秀団体表彰を受けました。

「祝う会」には来賓として母校の志村剛和校長をお迎えし、創設者のひとり高井平八先輩(63期 日本水泳連盟顧問)を始め現在コ

改めて水泳部OBの活動を理解し協力して下さる母校に感謝し、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。(82期 赤石啓)

きもの / 振袖 / 七五三 / フォトスタジオ
—人生の特別な日のお手伝い—

京都 もなみ

□ 函南本店
田方郡函南町平井613-2 ☎055-978-5991

□ サントムーン柿田川店
駿東郡清水町玉川61-2 ☎055-972-1063

□ 沼津イーラde店(2F)
沼津市大手町1丁目1-6 ☎055-954-6623

(一財)静岡県警察職員互助会優待店 / 静岡県教職員互助組合指定店 / 静岡県市町村職員共済組合指定店

振袖館 京都 もなみ

□ 函南本店
田方郡函南町平井613-2 ☎055-978-5991

□ サントムーン柿田川店
駿東郡清水町玉川61-2 ☎055-972-1063

□ 沼津イーラde店(2F)
沼津市大手町1丁目1-6 ☎055-954-6623

(一財)静岡県警察職員互助会優待店 / 静岡県教職員互助組合指定店 / 静岡県市町村職員共済組合指定店

にわか応援団、手弁当で奮闘

昭和四年（一九二九年）生まれの私たちの遊びは、キャンパス、兵隊ごっこ、メンコにビー玉が主で、軟らかいボールでの三角ベースは従。だから野球の規則も知識もほとんどなかった。同一七年（一九四二年）四月、旧制静中へ入学するとすぐ、静商との定期戦に備えて校歌、応援歌の練習が始まった。これが野球入門、私の野球人生の始まりだった。しかしそれも戦況の劣勢とともに翌年から中等野球は中止になってしまった。

山静大会から甲子園 幸せな時間を過ごす

奈良橋昭雄氏 (66期)

同二年（一九四六年）、終戦の翌年に待望の中野野球が復活した。極端に物資の乏しいなか、わが静中も急きょ軍の放出物資の国防色（カーキ色）のユニフォームで出場した。同二年、学制改革で新制高校が始まる。往年の名投手鈴木芳太郎先輩を監督に迎え、天下一品のノックと指導力によりメキメキと指導部を発足し、二年年長力をつけ、戦後第一期の黄金時代が始まった。同三年、甲子園出場を果たし、成田を破り岐阜から一円の援助もなく、球場への教壇の運び込みもリヤカーを引いてのわれわれ



昭和23年、甲子園での対成田高校（「静中静高野球部史」から）

れの仕事であった。野球部も快進撃を続け、悠々と最後の関門、山静大会へ駒を進めた。準決勝は甲府一高を軽く一蹴、いよいよ強敵日川高との代表をかけた決勝戦。このころが全く予期できなかった。敵は日川チームだけではいなく、中華鍋の底のような水港に横付けのハシケの夜警によるかなり高額のパイラト料で甲子園への旅費を賄うことができたことと感謝している。

勝つてうれしいのは当然だが、この勝利ほど頭の中が真っ白になる感動にひたつた勝利はなかった。そしてそれは身延線のなか、凱旋に湧く静岡駅頭に至って消えることはなかった。練習に試合に、常に野球と一緒の幸せな一年であった。感謝。(66期 奈良橋昭雄)



桜

今年も満開 静高春景色

○：静高の正門側道路沿いの桜約二〇本が今春も満開となった。生徒や教職員、近所の住民らが見事に咲き誇る花を楽しんだ。○：静岡地方気象台が出した静岡市での桜の開花宣言は三月十八日。昨年は全国的に開花が遅れ、静岡の開花は四月二日。四月にずれ込むのは一九九五年以来の異常事だった。○：今年も昨年より半月も早い開花で、これは年末から三月にかけて寒暖差が大きかったため、という。満開も同二七日と早く、入学式当日の桜の様子について昨年とは逆の心配をするほどだった。(編集委員)

校旗、同窓会旗、73期の旗

唐紅ってどんな色？



写真① 左から同窓会旗、校旗、73期の旗



写真② 静岡中学時代の初期校旗のイラストとみられる

静中静高校歌二番に唐紅の旗印とあります。唐紅は言うまでもなく静高のシンボルカラーです。以前から同窓会旗や校旗の色に、あれが紅色かと疑

問を持っていました。たまたま昨年の同窓会総会に73期同期会の旗を持って行ったのですが、田辺静岡市長が掲げて入場した同窓会旗の色が余りにも73期の旗の色と違っているのに驚きました。73期の旗は二、三〇年前マンセルにかなり忠実に染めた記憶があります。一方、同窓会旗はどう見ても

も紅色とは言えない色で、海老茶色かえんじ色とでもいうような色です。どうしてこんな色になっているのか、色を口で言っても難しいので、学校から校旗を、同窓会から同窓会旗を借りて73期の旗と比べてみました。写真①をご覧ください。中央が校旗、左が同窓会旗、右が73期の旗です。どれも唐紅色あるいは韓紅色に近いでしょうか。写真②は静岡中学時代に作成された初代校旗（それは戦後住友校舎の火災で焼失してしまいましたが）のイラストのようです。ある先輩の好みとしては同窓会旗の色が淡く美しいことですが、案外そんなところから同窓会旗の色がこれになったのでしょうか。(73期 大石安任)

平成30年度 静中・静高同窓会総会 開催のご案内

日時 平成30年11月3日(土) 文化の日
14:30 受付開始
15:00 総会、記念講演&演奏会
17:00 懇親会

会場 グランディエール ブケトーカイ 4階シンフォニー
静岡市葵区紺屋町17-1 TEL 054-273-5225

会費 8,000円

幹事 主幹事97期 副幹事98期・107期

今年は97期が幹事を務めさせていただきます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。
(実行委員長/97期代表 池谷文彦 080-3687-4138)



— 音楽は 国境を越え 時空を結ぶ —

音楽に国境はありません。けれども、音楽を教わるという事に関してはお国柄が明確に出ます。また、私がいた大学の校舎は、ヒトラーが活動拠点とした歴史的建造物としても有名でした。今回はドイツに長年暮らしたからこそ見た事、感じた事を、演奏の合間にご紹介したいと思います。ピアノは100年前にドイツで製造されたスタインウェイ。校歌や逍遙歌をピアノ曲にアレンジしたものを含む『同窓会オリジナルプログラム』でお届けします。

柴 郭恵 (しば ひろえ) 97期 ピアニスト、ウインターハミング市立音楽学校クラシックピアノ科講師
声楽家である母の影響で3歳からピアノを始める。静岡高校卒業後、3か月間ドイツ語を猛勉強し単身で渡独。ミュンヘン国立音楽大学卒業ののち、マンハイム国立音楽大学にて敬愛するロベルト・ベント教授に師事。同大学院を首席で卒業。以後30年にわたり、指導者として、そしてピアニストとして、欧州を中心に活躍する。